

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

別紙2

施設名	ちぐさ保育園カノン千住園
施設所在地	東京都足立区千住1-30-3
法人名	株式会社ちぐさナーサリー

1. 活動のテーマ

<テーマ>

ペイントと音 ♪ あめふりくまのこの歌に合わせてペイント
♪ 山の音楽家の世界をたのしむ

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

手が汚れるのを嫌がる子が多い中で、大好きなうたやメロディに合わせてなら楽しめるかなと思ってこの活動することにしました。ピアノの講師の先生にも来ていただき、本物の楽器の音色や歌声、音楽に触れる体験をすること。ペイントの楽しさを全身を使って体験すること。ちぐさ保育園カノン千住園は園庭がないため夏場は室内で水遊びも行っているため、ペイントは夏の遊びになっていたのでは全身を使っての体験を思う存分に楽しめるようにしたいと思いこのテーマを設定しました。

2. 活動スケジュール

令和7年5月～令和8年3月まで

3回(4回)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

保育室内の床全面にブルーシートを敷き詰めて汚れてもいい環境をつくった。ペイントは手が汚れるのを嫌がる子が多いので道具(ローラー・筆・スポンジスタンプ等)とたくさん作品が作れるように模造紙を多く準備し、絵の具はボディーペインティング用で体についても安全なもの、絵の具の感触を楽しめるものを用意した。ピアノの講師の先生を呼んでピアノの弾き語りや子供達に触る事ができる身近な楽器(カスタネット・タンバリン・鉄琴・ミュージックパッド等)を準備した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

子どもたちが園内で毎月歌っている歌を中心に、普段保育中に聞いている歌や動揺をピアノの弾き語りでうっとりと聴き、音に合わせてペイントで表現してみる活動をした。♪あめふりくまのこの音楽に合わせて雨のポツポツ、ザーザー、そーっとや強くなど強弱、絵の具のついた手でピアノを触ってみたり、音楽を聞きながら音に合わせて表現する楽しさを探求する活動を行った。リトミックでの表現はこうだけれど、ペイントでの表現はどうかなと活動の幅が広がるような活動を行った

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

子どもたちは普段聞き慣れている曲に合わせて楽しくペイントを進めていた。♪あめふりくまのこの「頭に葉っぱをのせました」という歌詞でお散歩で見えていた実際の大きな葉っぱもペタペタとペイントに使っていたのでその葉っぱを子どもたちは自分の頭に乘せてにっこり笑っていた。髪の毛にはピンク色のペイントがついていた。手が汚れるのが嫌だった子が、先生と一緒にいることで安心して足にもペイントをすることができいちばん最後まで終わるのを嫌がるほどに楽しむことができていた。

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子ども一人ひとりの活動の取り組み方があるのに気づくことができ、それを見守ることができた。歌に合わせてタンバリンを叩けるこもいれば叩かず置いてシングルを触って音を楽しんだり。それぞれの子どものたちの興味を見つけて、記録した。音に合わせて強弱をつけて、恐竜さんのように「ドシン ドシン」と大きな力強い音がなると子どもたちも足にペイントをつけて足型をドシンドシンとつけ、うさぎさんのようにぴょんぴょんと音がなると指でトントントンと優しくなったり、楽しく笑い合ったり、集中して没頭しているときには真剣な顔つきで黙々と取り組む姿があり、終わった後にはつかれた表情も見られたがそれだけ楽しむことができたんだなと感じ職員の子どもたちへの、発見や気づきも多かった。